

パナソニックグループのNEW・環境市民活動がキックオフ！

10月1日、PGV から パナソニック エコリレー ジャパンへ

10月6日(水)、パナソニックセンター東京で「パナソニック エコアイデア フォーラム 2010」が開催され、「グリーンプラン2018」の目標に「社会との協働(ステークホルダーとの協働)で環境貢献を拡大」、「パナソニック エコリレー・フォー・サステナブル・アースの推進」が発表されました。

日本国内では、グローバルにパナソニックのエコ仲間が連携する環境市民活動を目指し、PGV活動も継承するパナソニック エコリレー ジャパンが発足しました。詳しくは「Panasonic ECO RELAY for Sustainable Earth」のホームページをご覧ください。(<http://panasonic.co.jp/cca/environment/index.html> をご覧ください。)

これまでPGV通信[グリーンエコー]は創刊以来14年で通巻300号を超え、事務局と活動仲間を結ぶ情報ネットワークの役割を続けてきましたが、新しく[エコリレーJ 通信]として発信を継続し、お届けします。

おこめづくりで自然の育ちと恵みを実感

ビオトープ [ささやまの小さな自然]でイネ刈り体験

10月11日(祝・月)はエコリレーJのキックオフ活動、[ビオトープ de イネ刈り体験]でした。近隣エコリレー仲間と地域子供会の家族連れ、約80名が参加、棚田風二枚の田んぼ(合せて約60㎡)のイネを刈りました。6月の田植えの後、一時は冷夏を思わせるお天気で育ち具合が気になりましたが、8月からの猛暑日が続く、実り色イッパイの田んぼになりました。



お父さん、お母さんもお手伝い、刈り取ったイネは束ねてアゼに並べる (2010-10-11)

子供たちは約40名、田植え参加者も多く、まずイネの育ちにビックリ、そしてみんな揃っておこめづくりを通して自然の恵みを身近に実感していました。刈り取り作業は付添いの大人も応援、親子一緒に自然ふれあいを楽しみました。イネ刈り後、子供たちはビオトープの自然遊び、メダカすくいやバッタ捕りに夢中になっていました。



イネの重さで自然の恵みを実感、イネ刈り後のお楽しみは自然遊びでメダカすくい

From エコリレー仲間&事務局

・エコリレー ジャパン事務局は山口事務局長、袴田事務局次長が専任し、さらに労使それぞれの関係部門からメンバーが加わりました。事務局の所在地はパナソニック労連本部・ユニオンプラザ内です。